



【特別講演】「成年後見制度」の実情と社協の役割

2018年7月12日(木)

第10回目は、【特別講演】です。
今回は、横浜市中区社会福祉協議会 事務局長 根本秀一さまを
お迎えして、「成年後見制度」の実情と社協の役割について
ご講演いただきました。

「根本秀一様 横浜市中区社会福祉協議会 事務局長」

講演内容は、

- ①社会福祉協議会の設立
- ②区社会福祉協議会の取り組み
- ③地域ケアプラザの変遷
- ④区社協のあんしんセンターについて
- ⑤今後の権利擁護事業についてです。

昭和26年1月に全国社会福祉協議会がGHQの指導で設立されると、翌年3月までに都道府県・市区町村に社協が設置されました。

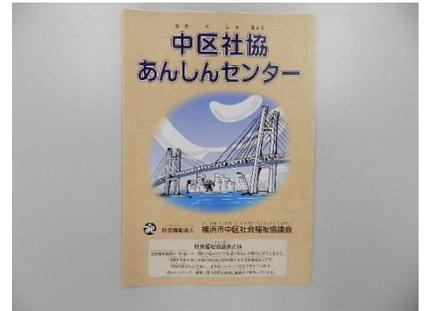
横浜市内の各社協は、平成11年までに全て区役所内から福祉保健活動拠点に移り、任意団体から社会福祉法人となって、地域ケアプラザと連携し地域の共助の取り組み支援やボランティアセンターの運営、あんしんセンター事業の実施、災害ボランティアネットワークの取り組み、生活支援体制整備事業の推進など、地域のために多岐にわたった活動を行なっています。

その他、横浜市18区で養成している「市民後見人」の実情についてもお話していただきました。

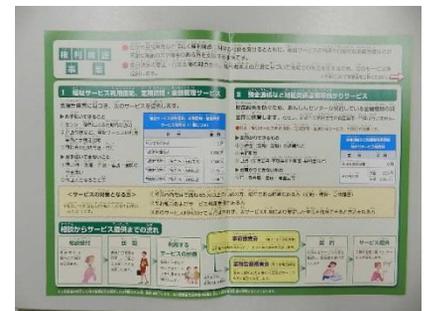
最後の質疑応答では、多数の質問があり、大変意義のある講演でした。

7月19日(木)はいよいよ最終回です。

講師 : 根本秀一 (横浜市中区社会福祉協議会 事務局長)
 理事長 : 佐々和亮
 事務局 : 秋元美香利



中区社協あんしんセンターの表紙



表紙を開くと、大きな字で分かりやすくセンターのお仕事を紹介しています。



質疑応答では、たくさんのご質問がありました。